

しゃわせ

令和7年10月30日(木)
静岡大学教育学部
附属静岡小学校
1年学年だより 11月号

後期に入り、早いもので一ヶ月が経とうとしています。子どもは「1年生も残り半分、2年生までにいろいろなことができるようになりたい」「もっともっと自分たちでできることをやっていきたい」と前向きな思いをもって学校生活を送っています。「後期になったから頑張りたい」と係活動に対して真剣に取り組もうとする子どももたくさんいます。黒板係になったある子は、「黒板消しが汚れていると黒板が汚くなる」と黒板だけでなく黒板消しもきれいにしています。手紙係になったある子は、「手紙を取りに行くために朝の支度を素早くしなくちゃ!」と、クラスのために素早く支度をして手紙を取りに行っています。同じ係の子が休みだったある子は「係の子がお休みだから僕がやらなくちゃ」と見通しをもって仕事を行っています。クラスのみんなのために自分の役割を果たそうとする思いや、学校生活を自分たちで過ごしやすいものにしていこうという思いをもってその子らしく係活動に向き合う子どもの姿が頼もしいです。

また、9月から始まった「つどい」ですが、まもなく高学年の発表が終わろうとしています。「つどい」は、学級で夢になれる活動や子どもと担任によって創り上げてきた学級文化（「大切にしているもの」など）を発表する場で3～6年生は全校児童の前で発表します。（1年生は2月頃に学年で発表予定です）「つどい」が始まった頃の子どもは見て楽しむことが中心でしたが「この伝え方は自分たちもできそうだよ」「協力が大切だと分かったから自分たちも頑張る」と振り返りの中で、高学年からの思いを受け取り、学校生活に活かしていこうと考える子も増えてきています。

このような「積み上げてきたものをより広げていこう」「できるようになりたい」「がんばりたい」という前向きな思いを大事に、子ども一人ひとりが自分らしく学校生活を送っていけるよう精一杯支えていきます。今後ともご協力をよろしくお願いします。

1-1 生活 <駿府公園で秋見つけ>



1-2 音楽<研究協議会>



1-3 生活<研究協議会>

